

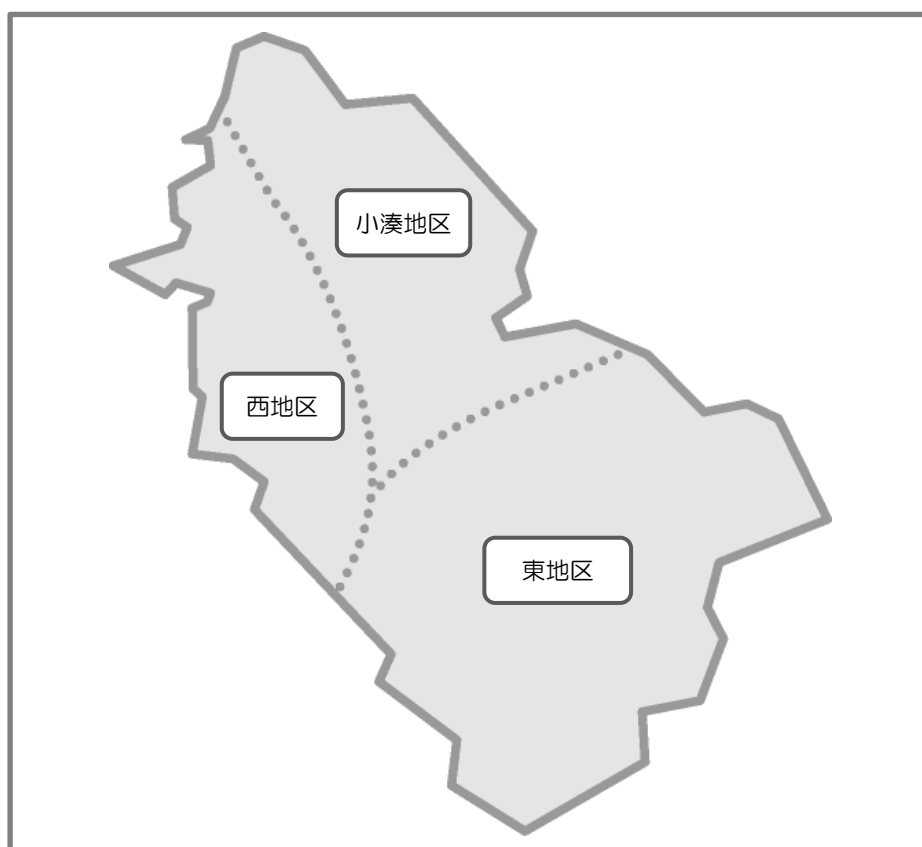
第3章

地区別分析

第3章 地区別分析

第3章は調査結果から3つの地区別に町全域と比較しながら、高齢者と介護者の生活実態、介護離職者の状況など、各地区の地域特性を分析しました。

地区名	高齢者人口 (人)	一般高齢者 (人)	要支援 認定者 (人)	要介護 認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
町全域	4,293	3,589	323	381	16.4	196	4.6
小湊地区	2,614	2,221	168	225	15.0	116	4.4
東地区	864	685	91	88	20.7	41	4.7
西地区	815	683	64	68	16.2	39	4.8



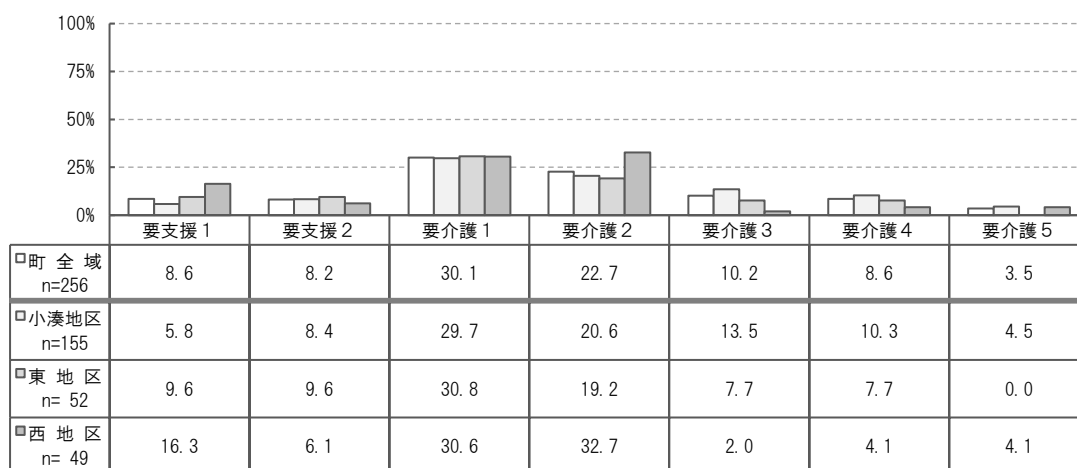
1 在宅医療・介護の推進

(1) 要介護者の状況

○調査結果から介護度別認定率をみると、町全域では「要介護1」(30.1%)が最も高く、次いで「要介護2」(22.7%)、「要介護3」(10.2%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では町全域とほぼ同様の傾向、〈東地区〉では「要介護1」「要介護2」に次いで「要支援1」「要支援2」、〈西地区〉では「要介護2」「要介護1」に次いで「要支援1」となっています。

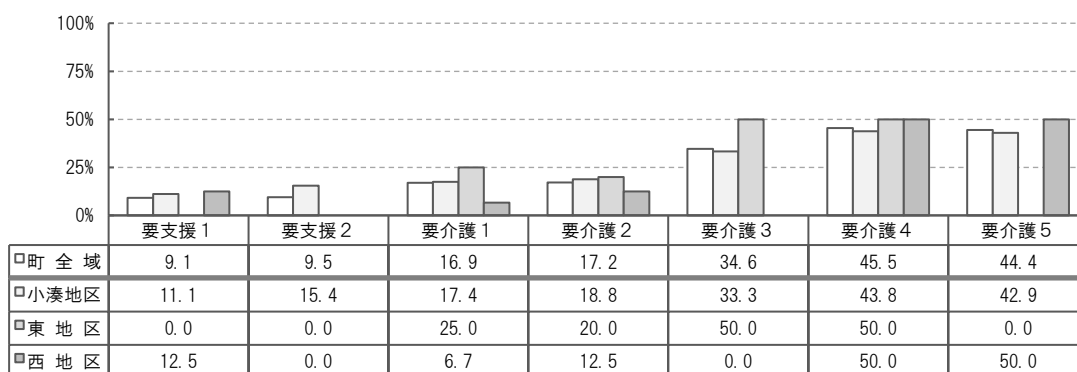
図 3.1 要介護者の介護度別割合



(2) 在宅医療に関するニーズ

○訪問診療を利用している要介護者の出現率をみると、町全域では「要介護4」(45.5%)が最も高く、次いで「要介護5」(44.4%)、「要介護3」(34.6%)となっています。
(地区別は対象者が少数のためコメントを省略)

図 3.2 訪問診療を利用している要介護者の出現率



※母数は地区別・介護度別で異なるため表記しません。

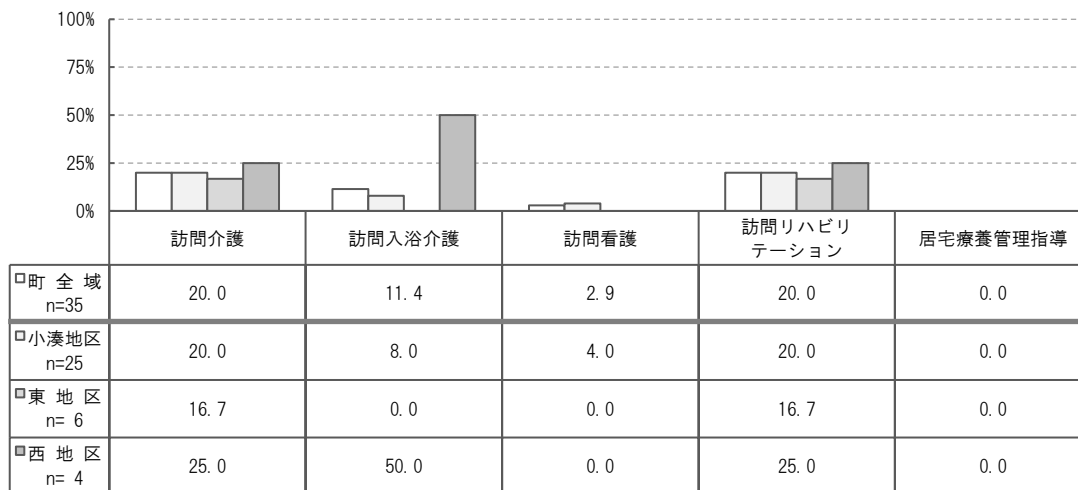
(3) 訪問診療の利用状況

○訪問診療利用者が利用する訪問系介護サービスの利用状況をみると、町全域では「訪問介護」「訪問リハビリテーション」(各20.0%)が最も高く、次いで「訪問入浴介護」(11.4%)、「訪問看護」(2.9%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では町全域と同様の傾向となっています。

〈東地区〉〈西地区〉は利用者が少数のためコメントを省略)

図 3.3 訪問診療利用者の訪問系介護サービス利用割合



2 介護離職の要因と問題軽減

(1) 家族介護者の介護離職の状況

○介護者の離職状況をみると、町全域では「介護離職者」が33.8%、「継続就労者」が66.2%となっています。

○地区別にみると、全ての地区で「継続就労者」が「介護離職者」を上回っているものの、〈小湊地区〉では「介護離職者」が町全域より0.2^{ポイント}、〈東地区〉では9.1^{ポイント}高くなっています。

○介護離職者が介護している方の状態をみると、町全域では「要介護3～5」が36.0%、「認知症高齢者」が76.0%となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では「要介護3～5」が町全域より4.7^{ポイント}低く、「認知症高齢者」が11.5^{ポイント}高くなっています。

(〈東地区〉〈西地区〉は対象者が少数のためコメントを省略)

図 3.4 介護者の離職状況

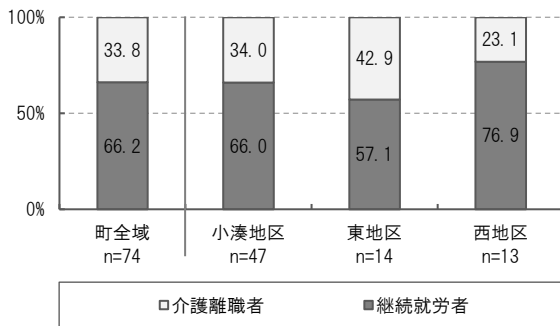
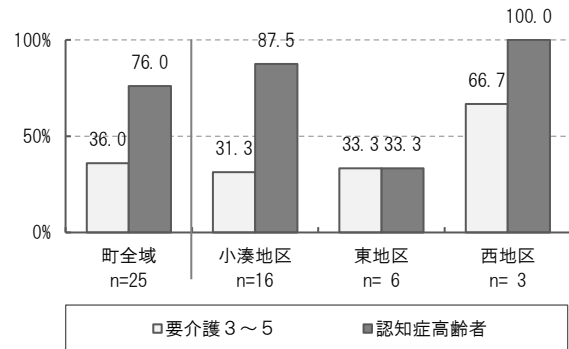


図 3.5 離職者が介護する要介護者の状態



※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②「5. 介護のために仕事を辞めた 家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方です。

※認知症高齢者：認知症高齢者の自立度が「Ⅱ」以上の方です。

○介護離職者が介護している方の世帯状況を見ると、町全域では「その他」(56.0%)が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」(24.0%)、「単身世帯」(16.0%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では「夫婦のみ世帯」が町全域より11.5ポイント低く、「単身世帯」が2.8ポイント、「その他」が6.5ポイント高くなっています。

(〈東地区〉〈西地区〉は対象者が少数のためコメントを省略)

○就労している介護者の今後の仕事と介護の両立についてみると、町全域では「(何とか)続けていける」(71.4%)が約7割で、「続けていくのは、難しい」(16.3%)を55.1ポイント上回っています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では「(何とか)続けていける」が3.7ポイント、「続けていくのは、難しい」が0.2ポイント町全域より低くなっています。

(〈東地区〉〈西地区〉は対象者が少数のためコメントを省略)

図 3.6 離職者が介護する要介護者の世帯状況

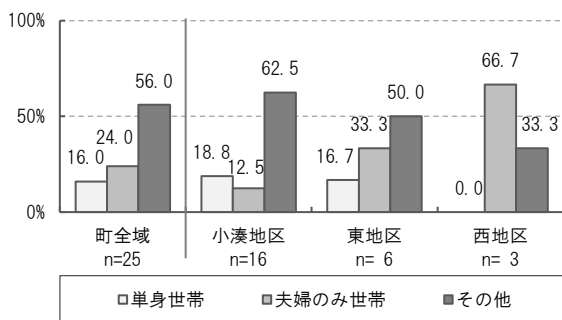
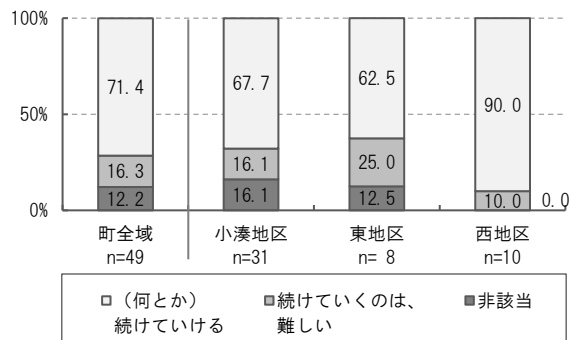


図 3.7 就労している介護者の今後の仕事と介護の両立の可否



※図3.7の凡例について

「(何とか) 続けていける」…問14-3で「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した方です。

「続けていくのは、難しい」…同設問で「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と回答した方です。

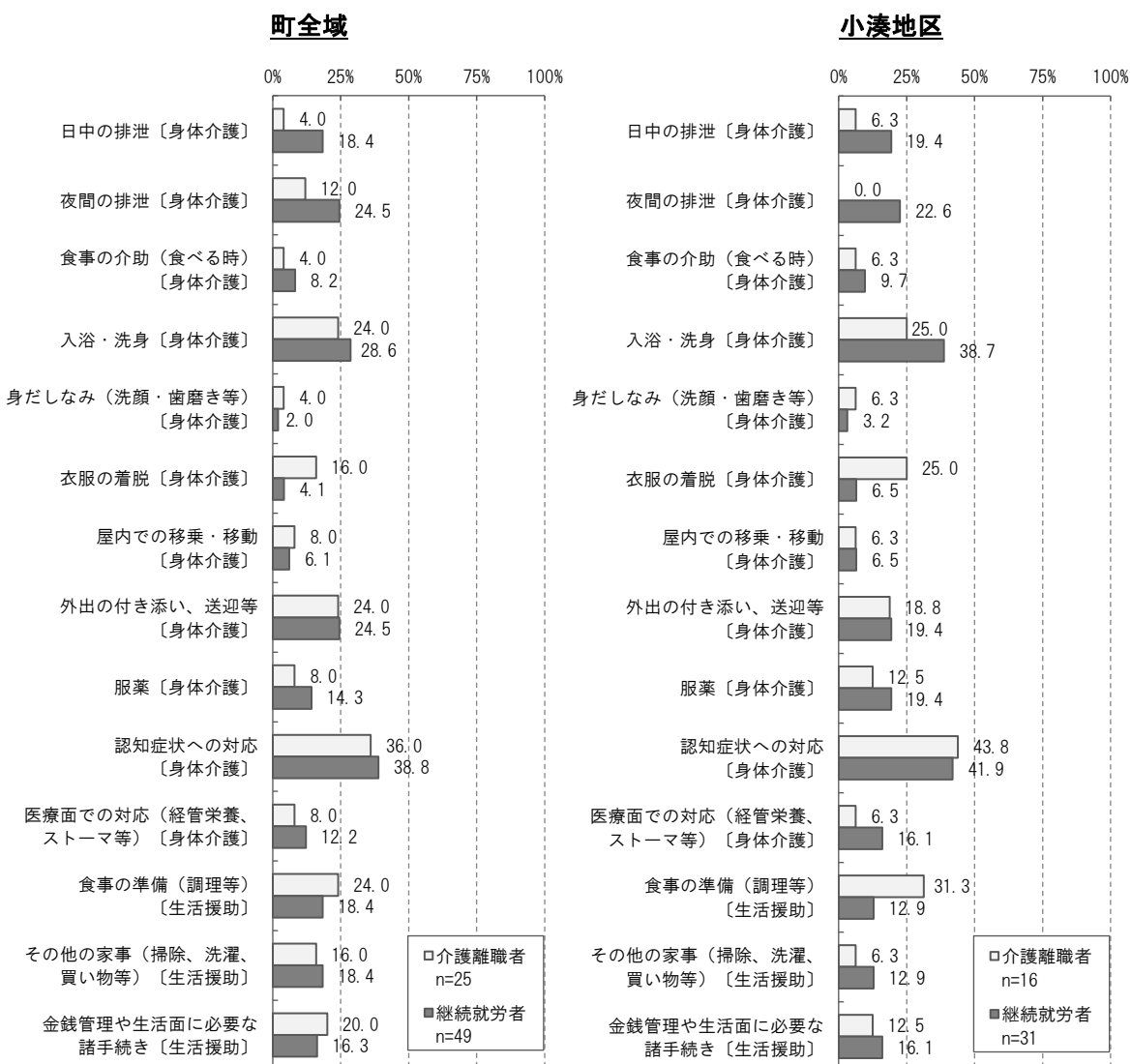
非該当…同設問で上記以外に回答した方と問14で対象外となった方です。

(2) 家族介護者の介護状況

○主な介護者が現在の生活を今後も続けていくうえで不安に思う介護等を町全域で見ると、介護離職者では「認知症状への対応」(36.0%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備(調理等)」(各24.0%)、「衣服の着脱」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(各16.0%)、継続就労者では「認知症状への対応」(38.8%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」(28.6%)、「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」(各24.5%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉の介護離職者は「認知症状への対応」(43.8%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(31.3%)、「入浴・洗身」「衣服の着脱」(各25.0%)となっています。継続就労者では「認知症状への対応」(41.9%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」(38.7%)、「夜間の排泄」(22.6%)となっています。

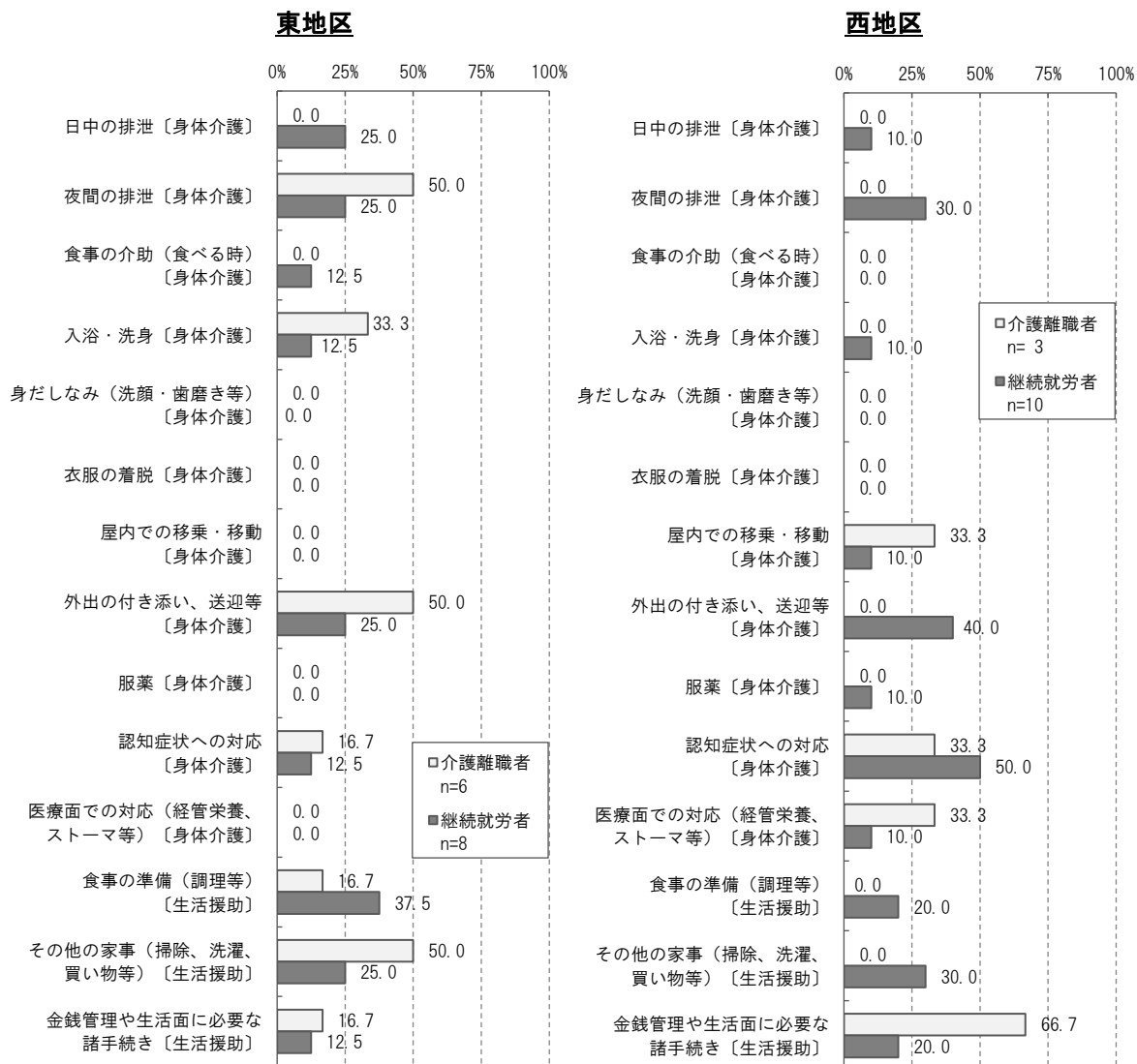
図 3.8 主な介護者が不安に思う介護等



○〈西地区〉の継続就労者は「認知症状への対応」(50.0%)が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(40.0%)、「夜間の排泄」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(各30.0%)となっています。

(〈西地区〉の介護離職者、〈東地区〉は対象者が少数のためコメントを省略)

図 3.8 主な介護者が不安に思う介護等



(3) 介護給付サービス利用状況

○介護離職者が介護している方のサービス利用状況をみると、町全域では「通所系・短期系のみ」(36.0%)が最も高く、次いで「訪問系を含む」(20.0%)、「訪問系のみ」(4.0%)となっているものの、利用者は少数です。

○地区別にみると〈小湊地区〉では、「通所系・短期系のみ」(43.8%)が最も高く、町全域より7.8ポイント高くなっています。

(〈東地区〉〈西地区〉は利用者が少数のためコメントを省略)

○継続就労者が介護している方のサービス利用状況をみると、町全域では「通所系・短期系のみ」(30.6%)が最も高く、次いで「訪問系を含む」(14.3%)「訪問系のみ」(8.2%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では町全域と比べて「訪問系のみ」が1.5ポイント、「訪問系を含む」が1.8ポイント高くなっています。

(〈東地区〉〈西地区〉は利用者が少数のためコメントを省略)

図 3.9-1 要介護者のサービス利用状況 (介護離職者)

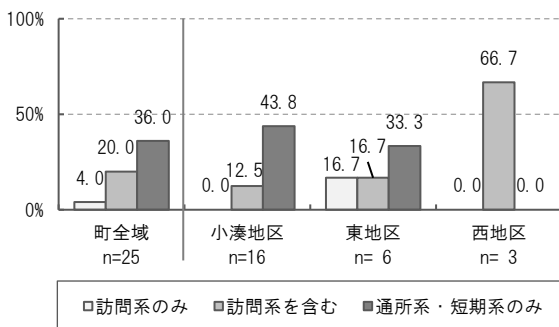
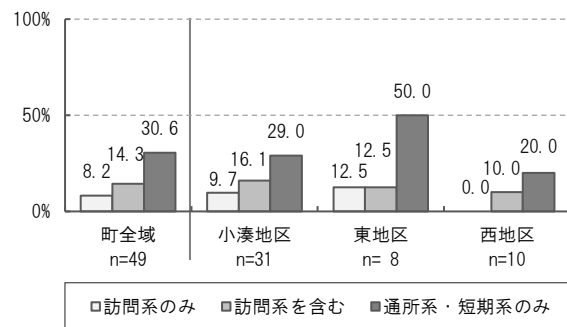


図 3.9-2 要介護者のサービス利用状況 (継続就労者)



※介護離職者：問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方です。

○就労している介護者で介護と仕事の両立を継続できると回答した方のサービス利用状況をみると、町全域では「通所系・短期系のみ」(27.0%)が最も高く、次いで「訪問系を含む」(14.3%)、「訪問系のみ」(9.5%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では「通所系・短期系のみ」が0.8%、「訪問系を含む」が2.4%、〈東地区〉では「通所系・短期系のみ」が6.3%、「訪問系のみ」が3.8%町全域より高くなっていますが、〈西地区〉では全てのサービスで町全域より低くなっています。

○訪問系サービスの利用日数をみると、町全域では「1～10日」(60.0%)、「11～20日」(26.7%)、「21日以上」(13.3%)で少数の利用者がいる状況です。

(地区別は利用者が少数のためコメントを省略)

図 3.10 要介護者のサービス利用状況
(今後も両立できる介護者)

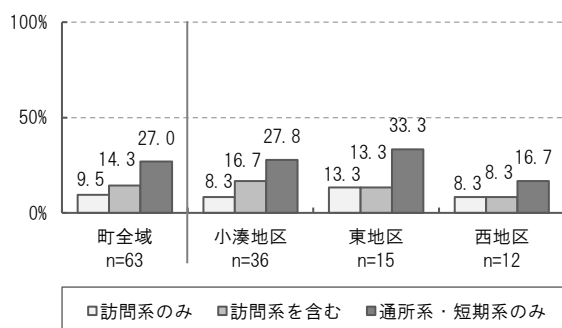
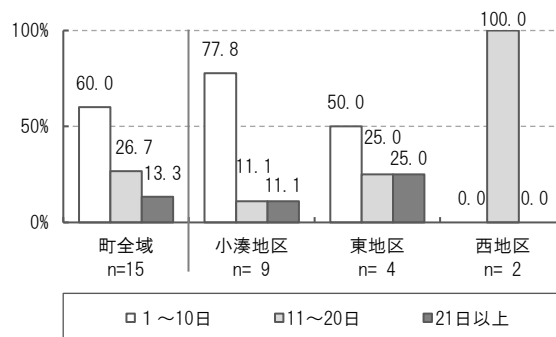


図 3.11 訪問系サービスの利用日数
(今後も両立できる介護者)



3 住まいのニーズ

(1) 要介護者の施設入所意向

○要介護者の介護施設等への入所意向割合を介護度別にみると、施設によって介護度等の入所条件が異なるものの、町全域では「要介護4」（36.4％）が最も高く、次いで「要介護2」（32.8％）、「要介護3」（26.9％）、「要介護1」（26.0％）となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では「要介護2」（37.5％）が最も高く、次いで「要介護1」（34.8％）、「要介護4」（31.3％）、「要介護3」「要介護5」（各28.6％）となっています。

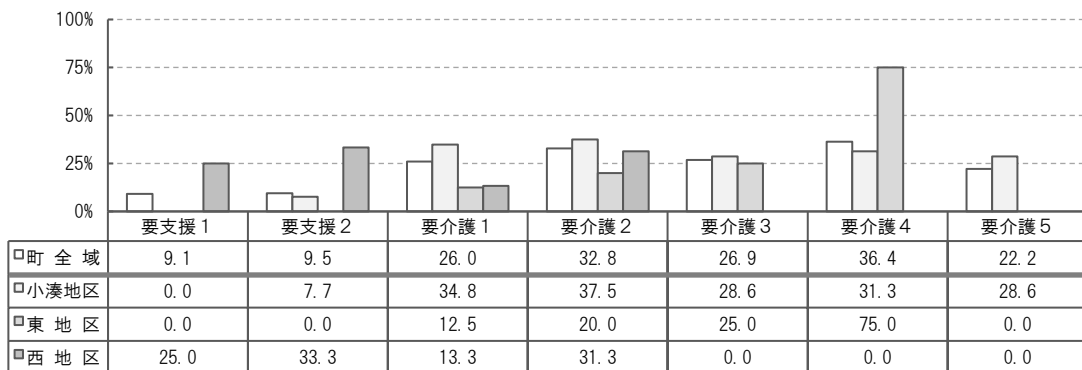
（〈東地区〉〈西地区〉は対象者が少数のためコメントを省略）

○要介護者の世帯類型別にみた入所希望では、町全域は「単身世帯」（30.0％）が最も高く、次いで「その他」（26.8％）、「夫婦のみ世帯」（17.0％）となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉の「単身世帯」（38.8％）は、他の世帯と比べて10.0ポイント以上高くなっています。

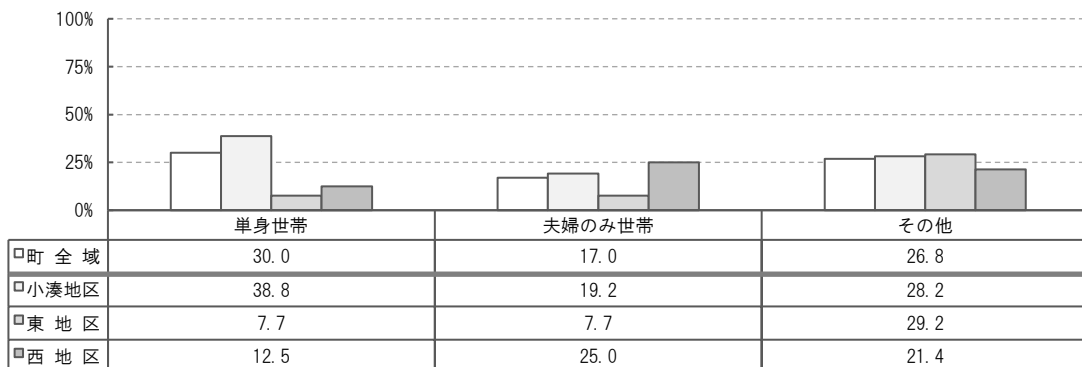
（〈東地区〉〈西地区〉は対象者が少数のためコメントを省略）

図 3.12 要介護者の介護施設等への入所意向割合



※母数は地区別・介護度別で異なるため表記しません。

図 3.13 要介護者の世帯類型別施設入所意向



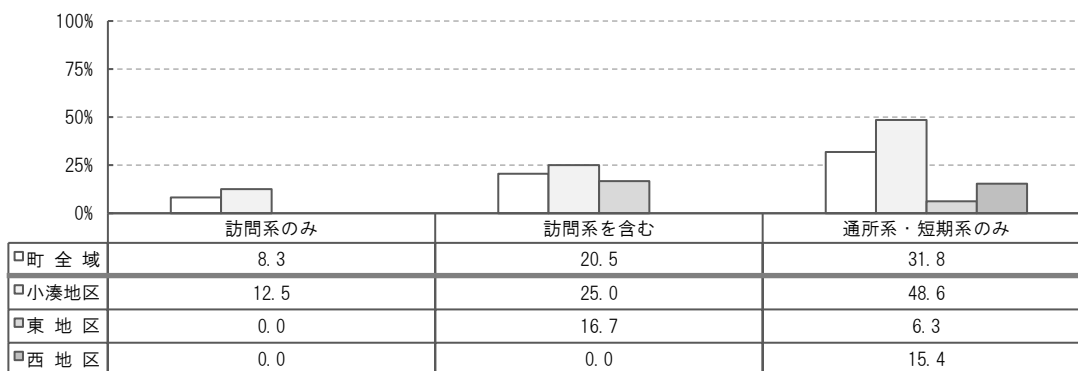
※母数は地区別・世帯類型別で異なるため表記しません。

○訪問系サービスの利用状況別の施設入所意向をみると、町全域では「通所系・短期系のみ」(31.8%)が最も高く、次いで「訪問系を含む」(20.5%)、「訪問系のみ」(8.3%)となっています。

○地区別にみると、〈小湊地区〉では「通所系・短期系のみ」(48.6%)が最も高く、次いで「訪問系を含む」(25.0%)、「訪問系のみ」(12.5%)となっています。

(〈東地区〉〈西地区〉は対象者が少数のためコメントを省略)

図 3.14 要介護者のサービス利用状況別施設入所意向



※母数は地区別・サービス別で異なるため表記しません。